

2019年7月30日

2019-2020 リュージュ競技 国際競技会派遣選考基準

公益社団法人

日本ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟

【決定の方法】

国際競技会への派遣選手は、以下に定める選考基準に基づき公益社団法人日本ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟（以下「日本連盟」という。）競技委員会が選考し（以下「本選考」という。）、資格選考委員会の確認及び理事会の承認を経て決定されるものとする。

【派遣対象競技会】

国際競技会とは、2019年 - 2020年シーズンにおいて国際リュージュ連盟が開催する以下の競技会とする。

- | | |
|--------------------|--|
| ① World Cup | 第1戦から第9戦まで |
| ② 世界選手権 | 開催予定期間:2020年2月5日～同月16日(International Training Weekを含む。) |
| ③ Junior World Cup | 第1戦から第6戦まで |
| ④ ジュニア世界選手権 | 開催予定期間:2020年2月12日～同月22日(International Training Weekを含む。) |

【選考方針】

1. シニア選手については、日本代表として、十分な活躍が期待でき、日本連盟が掲げる北京五輪での目標を達成できる可能性を有する選手を選考する。
2. ジュニア選手については、日本代表として、北京五輪以降も長期的に活躍が期待される次世代を担う有望な選手を選考する。
3. 行動規範を遵守し、日本連盟を代表するに相応しい選手を選考する。

【選考方法】

・シニア選手

1. 以下の①・②をいずれも満たす者を派遣対象として、前記の【選考方針】を踏まえて検討し選考する。
 - ① 2019年度コントロールテスト（2019年7月15日実施済み。以下「コントロールテスト」という。）で、800点以上を獲得したこと

- ② 日本連盟が海外で開催する 2019 年度セレクション滑走合宿（2019 年 10 月開催予定）で、トラックレコードから 10%以内の滑走タイムを 3 本以上（※）記録すること

※ 同日に計測されたタイムが 2 本以上含まれることを必要とする。なお、各選手は、該当の滑走に係るリザルトを日本連盟に提出する必要がある。

※ コントロールテストに参加できなかった者に対しては、リ्यूージュ強化部の裁量により、別の日程において、これに代わるテストを実施することがある（2019 年 8 月開催予定）。

・ジュニア選手

1. 以下の①を満たす者を派遣対象として、日本連盟が開催する 2019 年度夏期合宿（2019 年 7 月・8 月開催予定）での滑走状況・参加姿勢を考慮の上、前記の【選考方針】を踏まえて選考する。

- ① コントロールテストで、750 点以上を獲得したこと

※ コントロールテストに参加できなかった者に対しては、リ्यूージュ強化部の裁量により、別の日程において、これに代わるテストを実施することがある（2019 年 8 月開催予定）。

2. コントロールテストの各実施種目の中で、獲得点数が 30 点以下の種目がある者は、派遣対象から除外する。

3. 上記 1 又は 2 により派遣対象となる要件を満たさない者でも、以下の点を考慮し、リ्यूージュ強化部にて協議の上、派遣対象とする場合がある。

- ・昨シーズンの実績
- ・年齢
- ・将来性
- ・日本連盟が主催する合宿や練習会への参加姿勢

※ 「ジュニア選手」とは、2019 年 10 月 1 日から 2020 年 9 月 30 日までの間に 20 歳以下である選手をいう。

以上